

2015年12月 IR説明会

— 2016年3月期第2四半期決算と中期計画について —

Best Communication
NAC



2015年12月9日

株式会社ナック

東証一部 9788



目次

1. 第2四半期の実績	…	P. 2
2. セグメント別業績	…	P.11
3. 通期業績	…	P.24
4. 配当計画	…	P.28
5. 中期経営計画	…	P.30
6. 補足資料	…	P.39

この配付資料に記載されている業績目標及び契約数目標等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、また新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績はこの配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

1. 第2四半期の実績

1 '16.3月期 上期：連結損益計算書

(単位：百万円)

	'16.3月期 上期実績	上期計画比		前年同期比	
		'16.3月期 上期計画	達成率	'15.3月期 上期実績	増減率
売上高	36,523	39,000	▲ 6.4 %	40,978	▲ 10.9 %
売上総利益	15,866	—	—	16,502	▲ 3.8 %
(売上総利益率)	43.4%	—	—	40.3 %	+ 3.1 %
販管費	16,961	—	—	16,685	+ 1.7 %
営業利益	▲ 1,094	▲ 1,100	—	▲ 183	—
(営業利益率)	▲ 3.0 %	▲ 2.8 %	▲ 0.2 pt	▲ 0.5 %	▲ 2.5 pt
営業外損益	5	—	—	1	+ 488 %
経常利益	▲ 1,089	▲ 1,100	—	▲ 182	—
特別損益	+ 31	—	—	▲ 32	—
当期純利益	▲ 912*	▲ 840	—	▲ 334	—

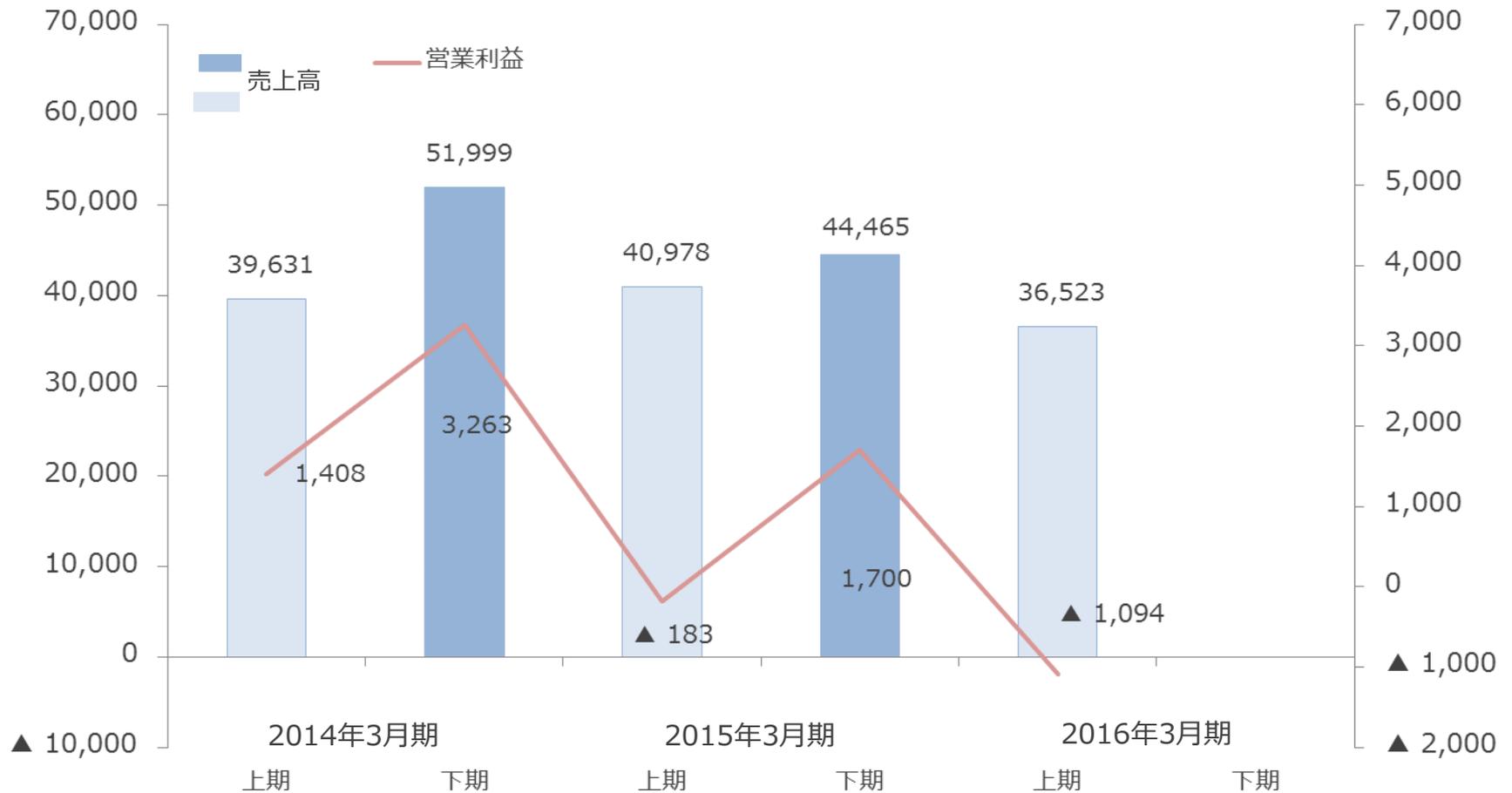
* 親会社株主に帰属する当期純利益

- » 売上高は住宅事業の落ち込みによる影響が大きく、計画比・前年同期比共に下回った。
- » 営業利益についてはレンタル事業と建築コンサルの増収が補完し、概ね計画通りの水準となった。

1 上半期／下半期の利益トレンド

(単位：百万円)

(単位：百万円)



» 住宅事業の引渡が期末に集中するため、営業利益は下半期に偏る傾向

1 セグメント別：売上高

(単位：百万円)

売 上 高	'16.3月期 上期実績	上期計画比		前年同期比	
		'16.3月期 上期計画	計画比	'15.3月期 上期実績	前年同期比
ク リ ク ラ	6,660	6,900	▲ 239	6,686	▲ 26
レ ン タ ル	6,296	6,300	▲ 3	6,149	+ 147
建 築 コ ン サ ル	2,747	2,500	+ 247	2,908	▲ 161
住 宅 事 業	15,874	18,500	▲ 2,625	20,571	▲ 4,696
通 販 事 業	4,959	4,800	+ 159	4,696	+ 263
消 去 調 整 他	▲ 15	—	—	▲ 33	+ 18
合 計	36,523	39,000	▲ 2,476	40,978	▲ 4,454

- » クリクラは、天候不順が影響し計画・前年同期をともに下回った。
- » 建築コンサルは、ノウハウ販売での地道な営業活動により計画を上回ったが、産業用太陽光市場縮小の補完は難しく前年同期を下回った。
- » 住宅事業は、消費増税後の不振が長引き計画・前年同期をともに大幅に下回った。
- » 通販事業は、マキアレイベルは堅調に推移、またCoyoriは順調に新規顧客が増加していることから計画・前年同期とも上回った。

1 セグメント別：営業利益

(単位：百万円)

営業利益	'16.3月期 上期実績	上期計画比		前年同期比	
		'16.3月期 上期計画	計画比	'15.3月期 上期実績	前年同期比
ク リ ク ラ	▲ 219 (▲ 3.3 %)	▲ 200 (▲ 2.9 %)	▲ 19 (▲ 0.4 pt)	▲ 65 (▲ 1.0 %)	▲ 153 (▲ 2.3 pt)
レ ン タ ル	912 (14.5 %)	800 (12.7 %)	+ 112 (+ 1.8 pt)	745 (12.1 %)	+ 167 (+ 2.4 pt)
建 築 コ ン サ ル	523 (19.1 %)	330 (13.2 %)	+ 193 (+ 5.9 pt)	397 (13.7 %)	+ 126 (+ 5.4 pt)
住 宅 事 業	▲ 1,297 (▲ 8.2 %)	▲ 1,100 (▲ 5.9 %)	▲ 197 (▲ 2.3 pt)	▲ 383 (▲ 1.9 %)	▲ 913 (▲ 6.3 pt)
通 販 事 業	▲ 451 (▲ 9.1 %)	▲ 300 (▲ 6.3 %)	▲ 151 (▲ 2.8 pt)	▲ 264 (▲ 5.6 %)	▲ 187 (▲ 3.5 pt)
全 社 費 用 等	▲ 562	▲ 630	+ 67	▲ 613	+ 50
合 計	▲ 1,094 (▲ 3.0 %)	▲ 1,100 (▲ 2.8 %)	+ 5 (▲ 0.2 pt)	▲ 183 (▲ 0.5 %)	▲ 911 (▲ 2.5 pt)

※ カッコ内の数字は売上高に対する営業利益率です。

- ▶ クリクラは、売上高微減のため営業利益が計画を下回った。また、本庄工場の減価償却費を計上しているため前年同期を下回った。
- ▶ レンタルは、全ての部門で好調だったため営業利益が計画・前年同期ともに上回った。
- ▶ 建築コンサルは、収益率の高いノウハウ販売の売上増加と管理コストの見直しにより営業利益が計画・前年同期ともに大幅に上回った。
- ▶ 住宅事業は、売上高減少により営業利益が計画・前年同期ともに下回った。
- ▶ 通販事業は、広告宣伝費及び販売促進費を前倒して積極的に投入したこととホールセール事業や通販コンサルティング事業の売上高減少により営業利益が計画・前年同期ともに下回った。

1 対計画比のセグメント別業績差異要因

【クリックラ事業セグメント】

- » 売上高は、天候不順によりボトル売上が計画を下回った。
- » 損益面では、売上高減少により計画を下回った。

【住宅事業セグメント】

- » 売上高は、消費増税後の不振が長引き第1四半期前半の受注数が計画を大きく下回ったことによりレオハウスの完工棟数が計画を下回った。
- » 損益面では、売上高の減少により大幅に計画を下回った。

【通販事業セグメント】

- » 売上高は、好調に推移したものの、損益面では、広告宣伝費及び販売促進費を前倒して積極的に投入したことからホールセール事業や通販コンサルティング事業の売上高減少により計画・前年同期ともに下回った。

1 営業利益の増減要因

(単位：百万円)

			前年同期比増加率
2015年3月期上期 営業利益		▲ 183	-
①	売上総利益の減少	▲ 635	▲ 3.8 %
②	販管費の増減 ※	販促費・広告宣伝費	▲ 16 ▲ 0.5 %
		人件費	+ 76 + 1.1 %
		支払手数料	▲ 75 ▲ 14.1 %
		減価償却費・のれん償却費	▲ 22 ▲ 2.1 %
		地代家賃	▲ 124 ▲ 11.9 %
		その他販管費	▲ 113 ▲ 2.9 %
		2016年3月期上期 営業利益	

① 売上総利益の減少理由

» 住宅事業で売上総利益が大幅減少したことによる。

※販管費の増減額について
+は損益の増加／▲は損益の減少

② 販管費の増減理由

» 販促費・広告宣伝費の増加は、通販事業において前倒しで投入したことによる。

» 人件費は住宅事業とレンタル事業で減少したことによる。

» 地代家賃は、第1四半期新規出店により拠点が増加したことによる。

1 '16.3月期 上期：連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2015年9月末	構成比	2015年3月末	構成比	増減額
流動資産	16,732	42.3 %	16,040	40.2%	+ 692
有形固定資産	14,712	37.2 %	15,032	37.7%	▲ 319
無形固定資産	4,021	10.2 %	4,307	10.8%	▲ 286
投資その他の資産	4,106	10.4 %	4,482	11.2%	▲ 375
固定資産計	22,840	57.7 %	23,821	59.8%	▲ 981
資産合計	39,572	100 %	39,862	100.0%	▲ 289
流動負債	16,819	42.5 %	16,065	40.3%	+ 753
固定負債	7,818	19.8 %	7,663	19.2%	+ 154
負債合計	24,637	62.3 %	23,729	59.5%	+ 908
株主資本	15,753	39.8 %	16,889	42.4%	▲ 1,136
その他の包括利益累計額	▲ 817	▲ 2.1 %	▲ 756	▲ 1.9%	▲ 61
純資産合計	14,935	37.7 %	16,132	40.5%	▲ 1,197
負債・純資産合計	39,572	100.0%	39,862	100.0%	▲ 289

主な増減要因

- 流動資産：未成工事支出金 +771 繰延税金資産 +476
 - 固定資産：建物及び構築物 +4,447 建設仮勘定 ▲6,109
 - 流動負債：未成工事受入金 +1,367
 - 固定負債：長期借入金 ▲972 リース債務 +1,117
- 自己資本比率：37.7 %

1 '15.3月期 上期：連結キャッシュフロー

(単位：百万円)

	'16.3月期 上期実績	'15.3月期 上期実績	'15.3月期 通期実績
1.営業活動によるCF	▲ 872	▲ 2,017	▲ 1,537
2.投資活動によるCF	▲ 906	▲ 1,333	▲ 4,086
3.財務活動によるCF	909	4,812	3,727
現金及び現金同等物の増減額	▲ 869	1,461	▲ 1,897
現金及び現金同等物の期首残高	4,474	6,371	6,371
現金及び現金同等物の期末残高	3,605	7,832	4,474
減価償却費	1,101	875	1,859

当期の主な要因

- 営業活動：未成工事受入金の増加1,356百万円、減価償却費1,101百万円等による資金の増加
棚卸資産の増加1,146百万円、仕入債務の減少600百万円、四半期純損失1,058百万円等による資金の減少
- 投資活動：有形固定資産取得による支出1,109百万円
- 財務活動：セールアンドリースバックによる収入1,411百万円

2. セグメント別業績

2 セグメント別業績（1）クリックラ事業 ①

売上高

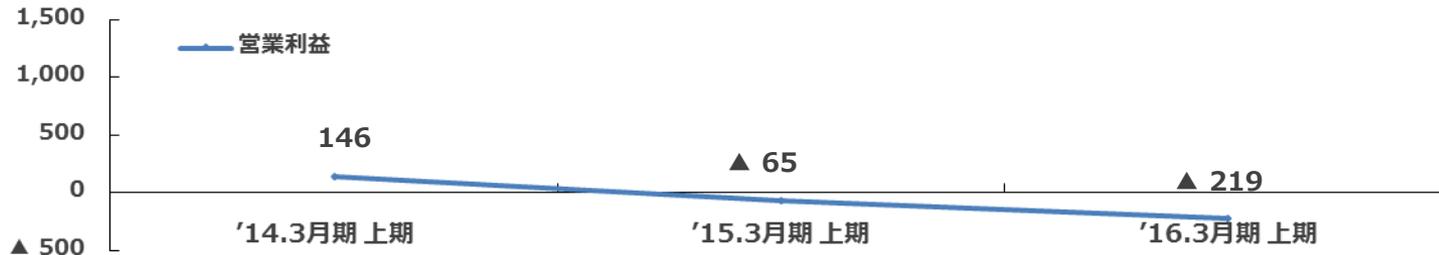
(単位：百万円)



※ 最大の需要期である夏場に天候不順の影響が大きく、売上高が前期比で微減

営業利益

(単位：百万円)



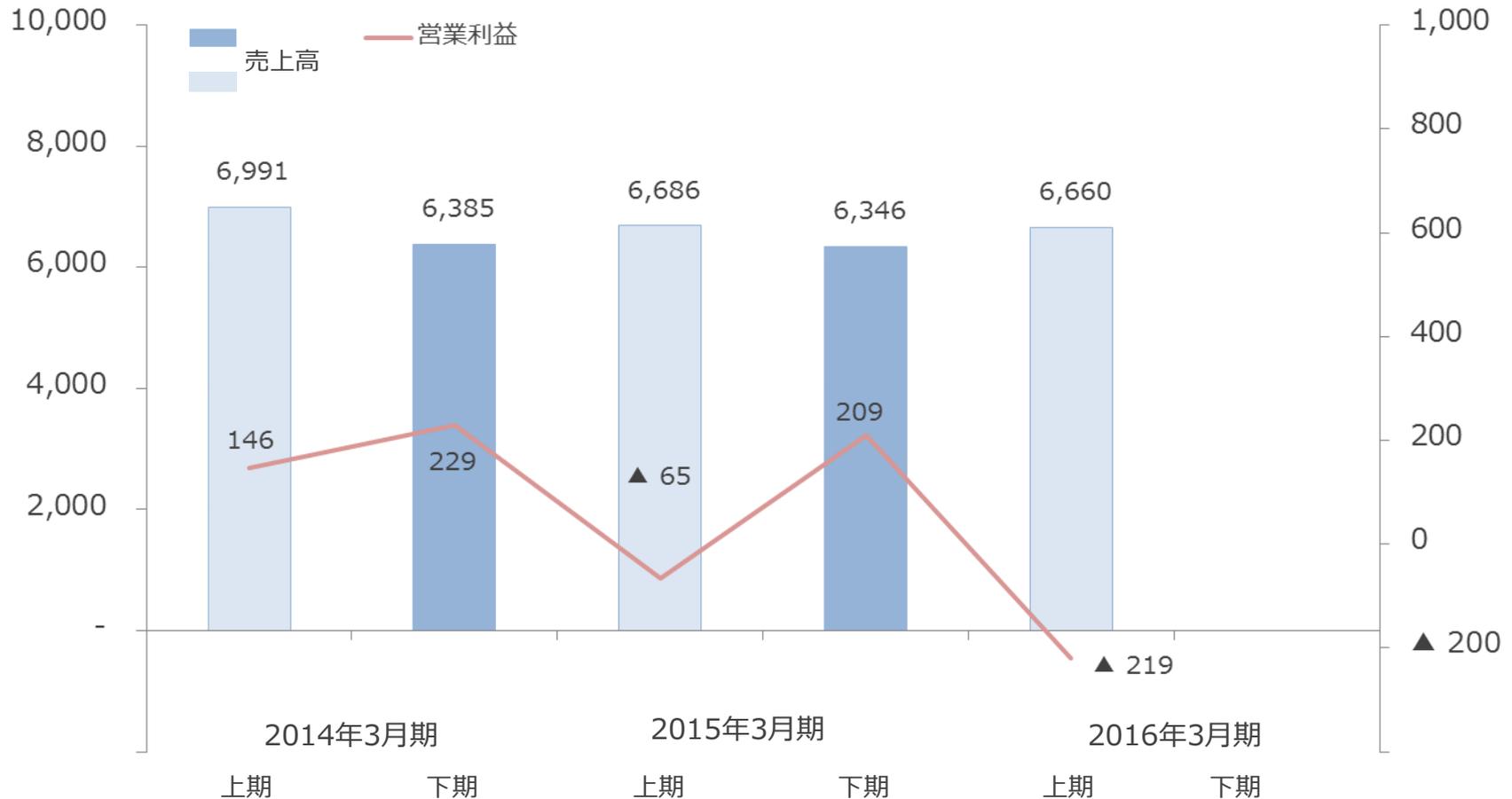
※ 損益面では、2015年4月に稼動し始めた本庄工場の減価償却費を計上したことにより減少

2 セグメント別業績（1）クリクラ ②

(単位：百万円)

(単位：百万円)

上期／下期 売上高・営業利益の推移

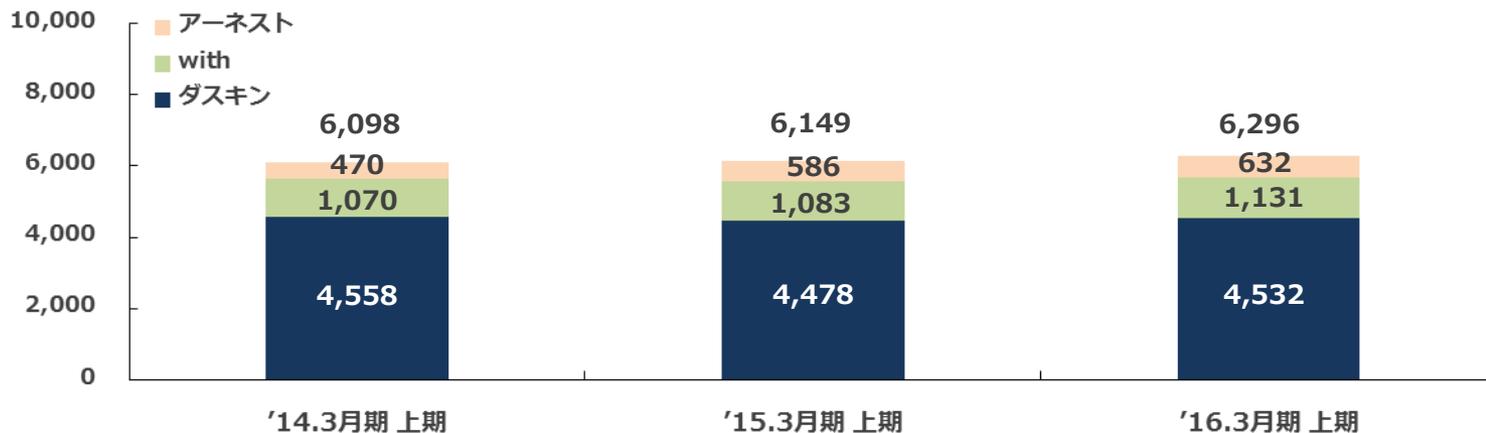


» '16.3月期上期の営業利益は、本庄工場の減価償却費計上のため前年同期比で減益

2 セグメント別業績（2）レンタル事業 ①

売上高

(単位：百万円)



- ダスキン事業は既存顧客へ深耕することにより顧客単価・解約率が改善。また、廃業加盟店からの顧客譲渡も含め顧客数は堅調に推移し売上高が前年同期比で増加
- with事業（害虫駆除関連商品）は前期新規出店した直営店が軌道にのり売上高増加
- アーネスト(定期清掃)はWEB受注の定着に加え、既存顧客からの紹介で新規顧客が増加したことにより売上高増加

営業利益

(単位：百万円)



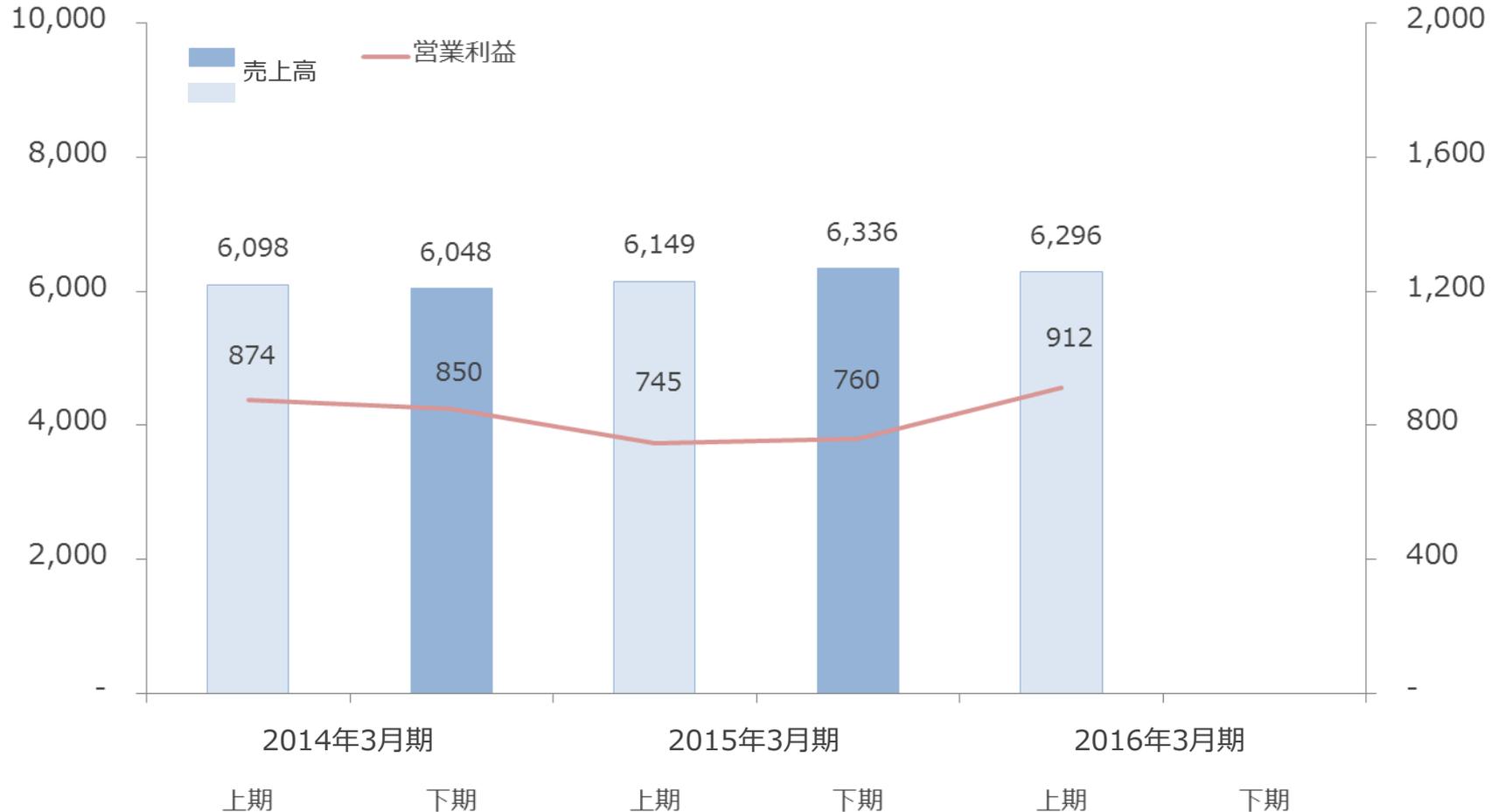
- 損益面では、全ての部門において売上高が増加したことにより営業利益が前期比で大幅増加

2 セグメント別業績（2）レンタル ②

(単位：百万円)

(単位：百万円)

上期／下期 売上高・営業利益の推移

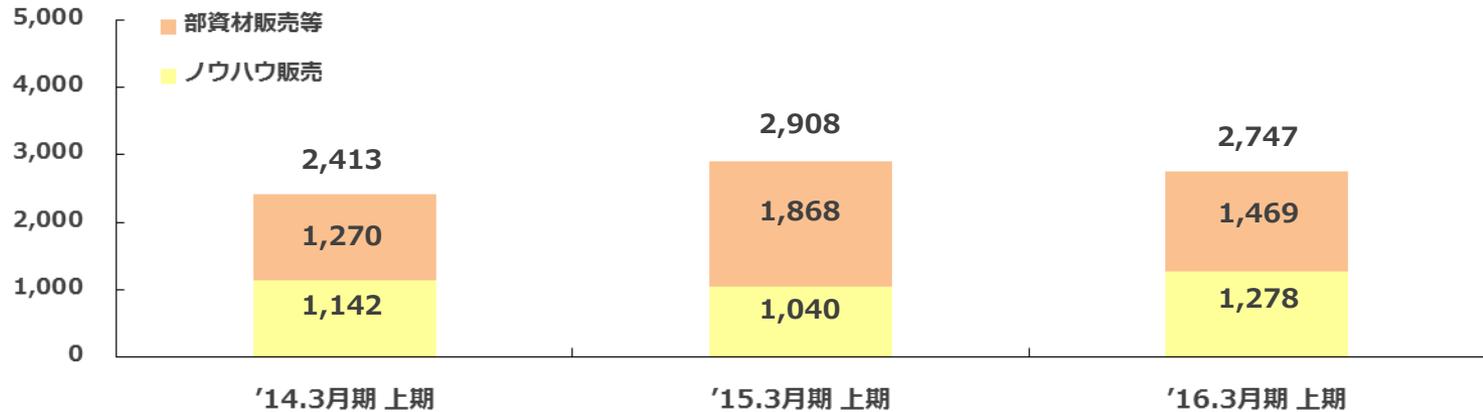


» '16. 3月期上期の営業利益は、全ての部門で好調のため前年同期比で増益

2 セグメント別業績（3）建築コンサルティング事業 ①

(単位：百万円)

売上高



- » ノウハウ販売では、継続的な取引社数拡大に向けて地道な営業活動により売上高増加
- » 部品材販売では、産業用太陽光市場縮小により前期比で売上高減少

(単位：百万円)

営業利益

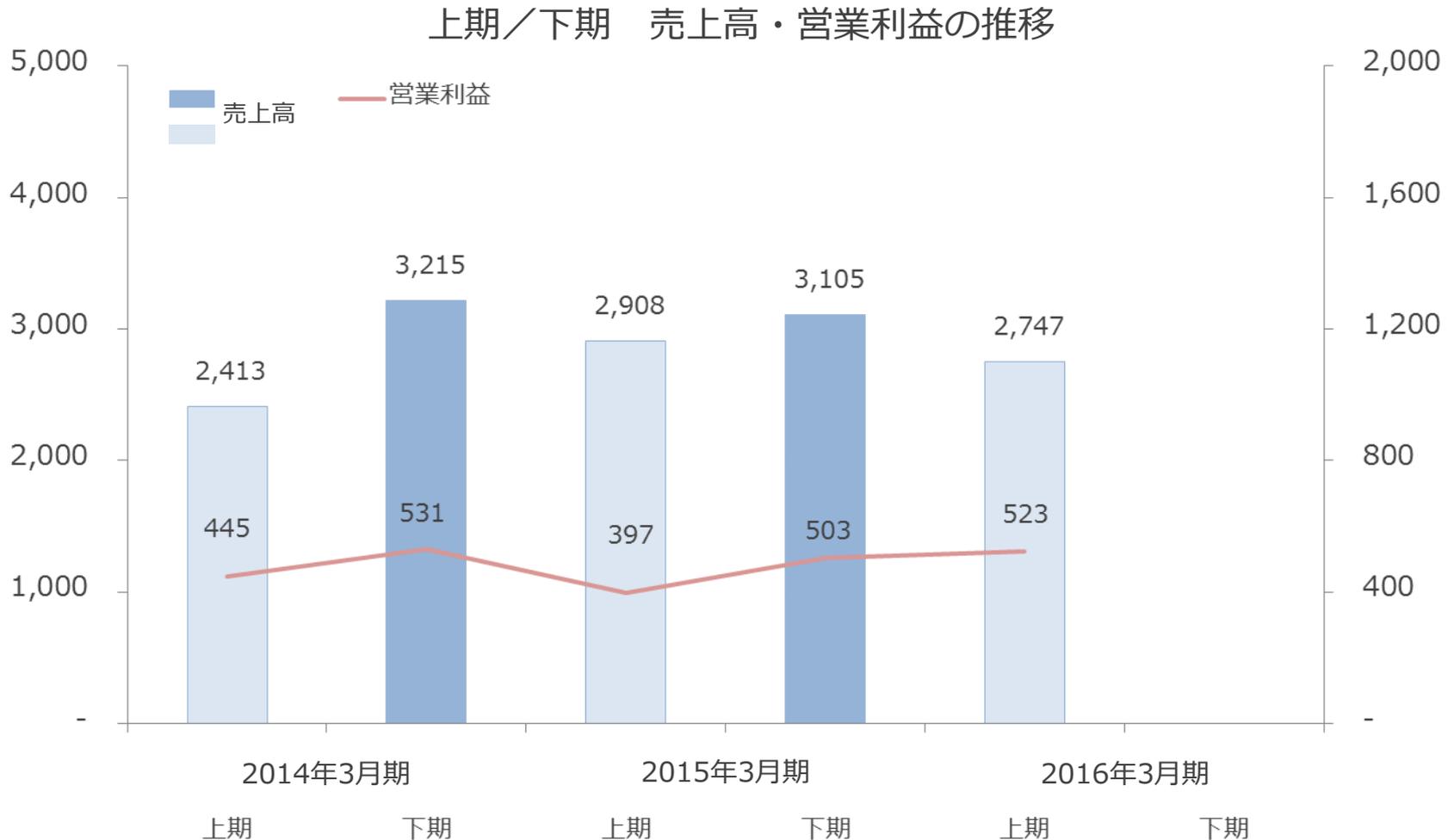


- » 損益面では、収益率の高いノウハウ販売での売上高増加および管理コストの見直しにより、営業利益が前期比で大幅増加

2 セグメント別業績（3）建築コンサルティング ②

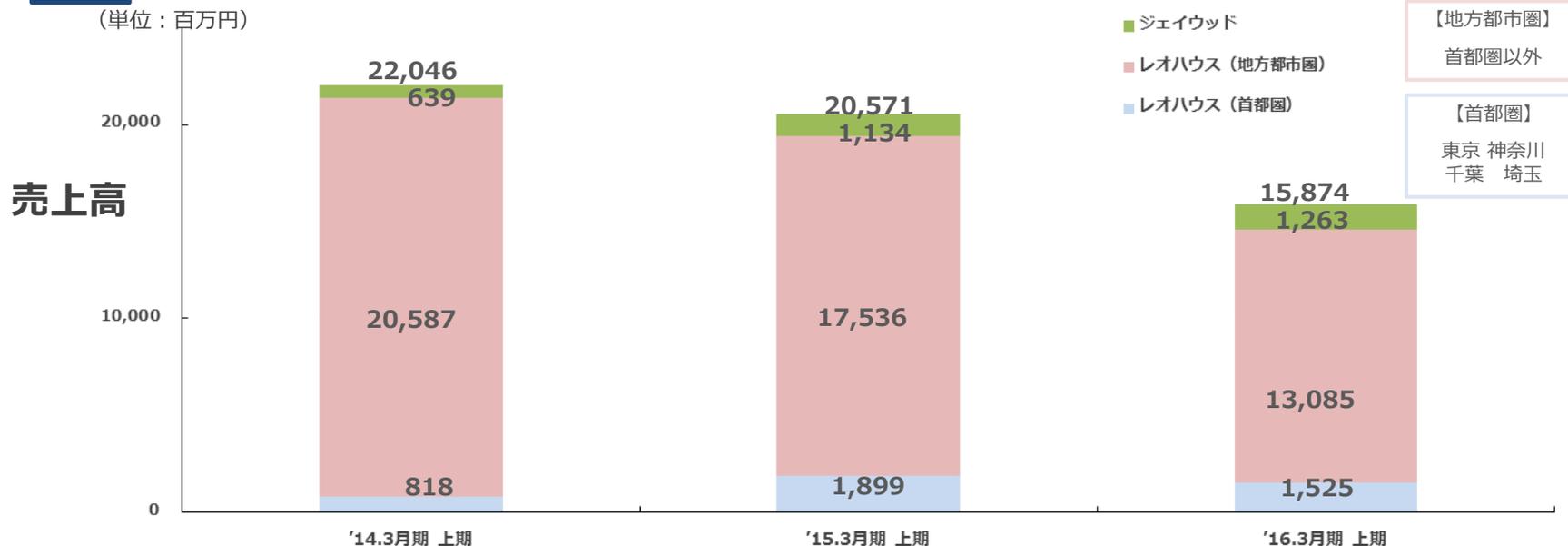
(単位：百万円)

(単位：百万円)

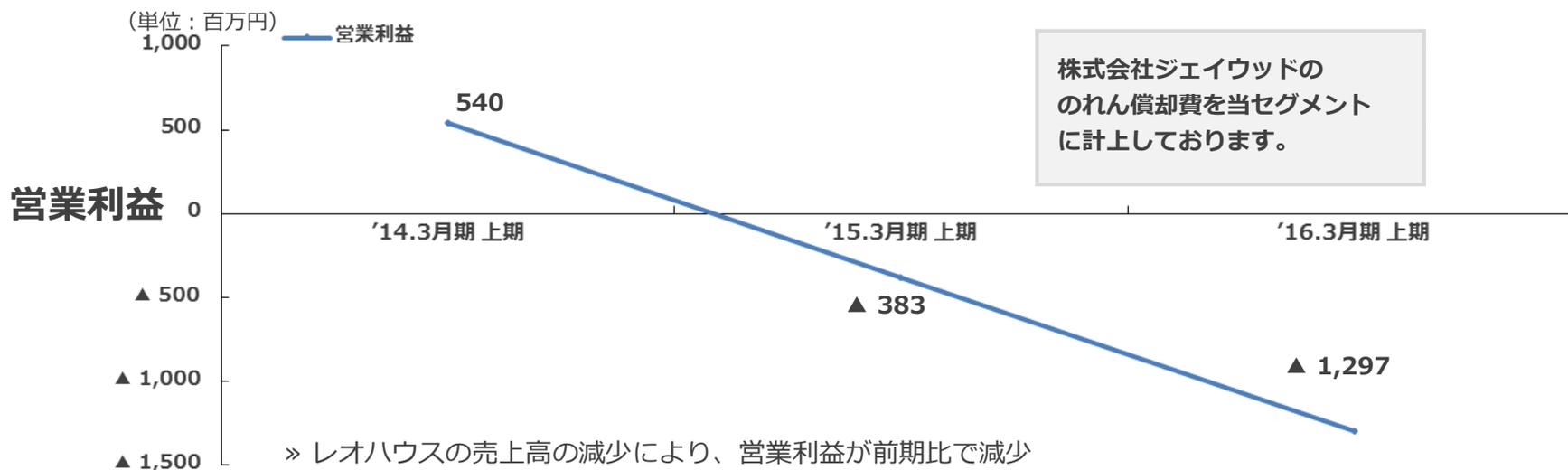


» '16.3月期上期の営業利益は、収益率の高いノウハウ販売での売上高増加および管理コストの見直しにより、営業利益が前期比で大幅増加

2 セグメント別業績（４）住宅事業 ①



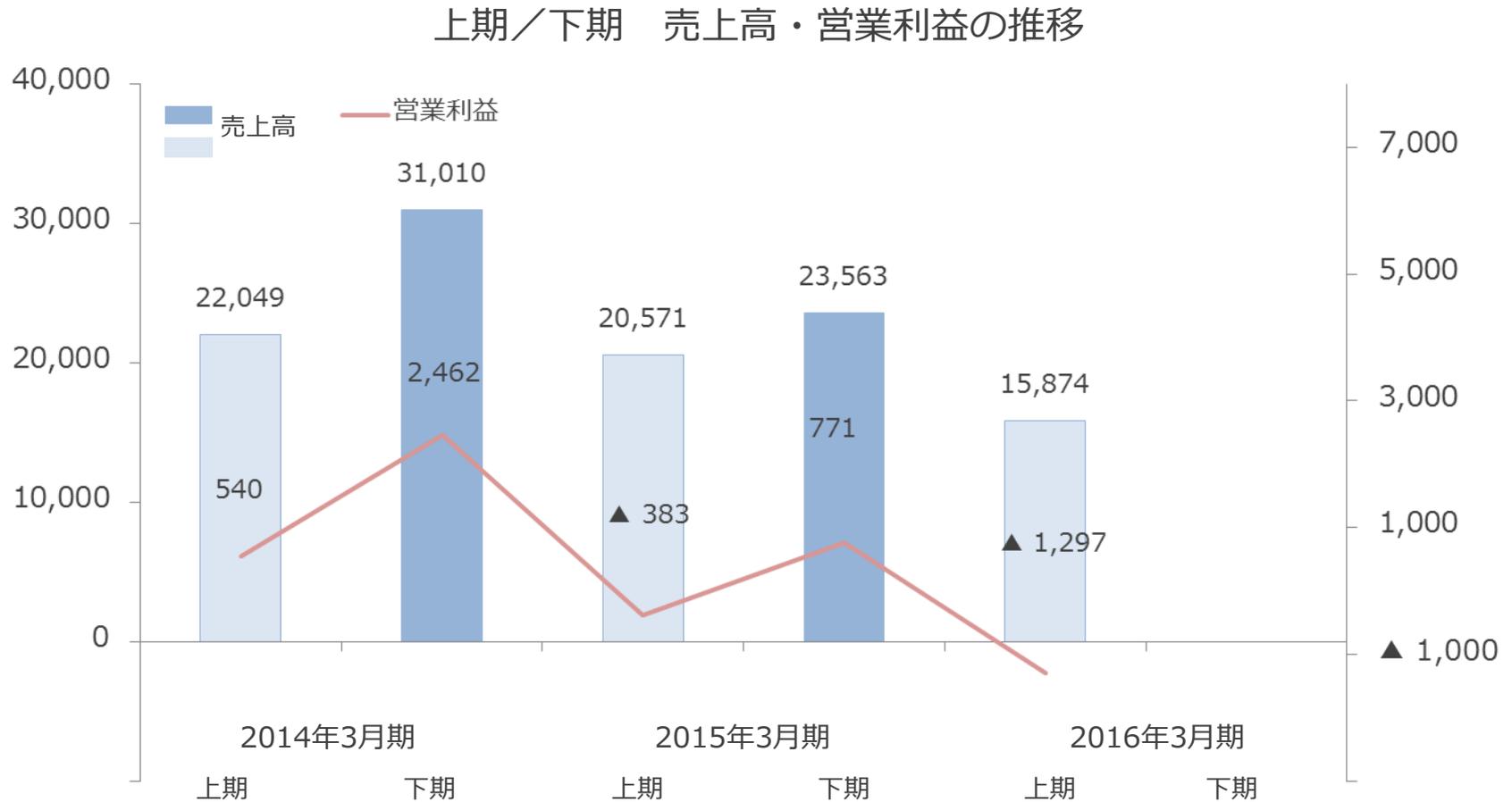
- » レオハウスは新商品投入するも市場への商品浸透に時間を要し、売上高は前年同期比で減少
- » ジェイウッドは受注も好調で売上高が前期比で増加



2 セグメント別業績（4）住宅事業 ②

(単位：百万円)

(単位：百万円)



» 住宅の引渡が期末に集中するため、営業利益は下半期に偏る傾向
 '16.3月期上期の営業利益は、売上高の減少により大幅に減益

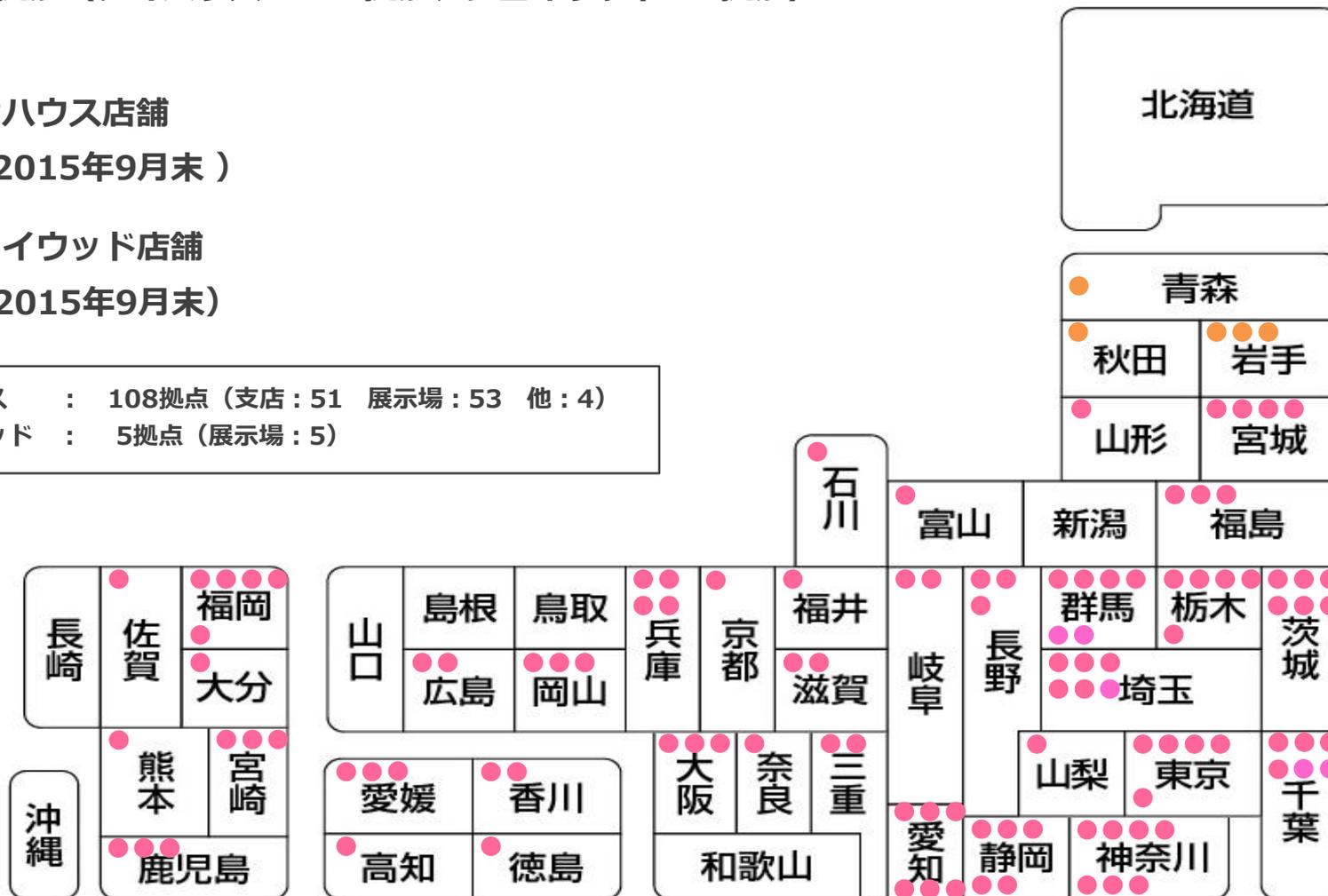
2 セグメント別業績（4）住宅事業 ③

全国113拠点（レオハウス：108拠点、ジェイウッド：5拠点）

● レオハウス店舗
（～2015年9月末）

● ジェイウッド店舗
（～2015年9月末）

レオハウス : 108拠点（支店：51 展示場：53 他：4）
ジェイウッド : 5拠点（展示場：5）



2 セグメント別業績（4）住宅事業 ④

【レオハウス】 四半期ごとの出店数と受注・完工・受注残・販売単価の推移

(単位：棟数/店舗)

	2014年3月期				2015年3月期				2016年3月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
受注	762	1017	499	531	530	525	415	435	387	533		
完工	445	739	711	917	468	557	492	654	238	500		
受注残	1,606	1,860	1,636	1,233	1,267	1,220	1,129	902	1,035	1057		
受注残 増減	+300	+254	▲224	▲403	+34	▲47	▲91	▲227	+133	+22		
単価	※1 1,756万円/棟				※1 1,850万円/棟				※1 1,903万円/棟 (計画)			

※1 販売単価は追加・外構工事を除いた金額

出店数	9	6	2	3	4	3	3	4	7	0		
店舗計	84	90	92	95	※2 97	100	103	107	※3 109	※4 108		

※2 支店統廃合により▲2

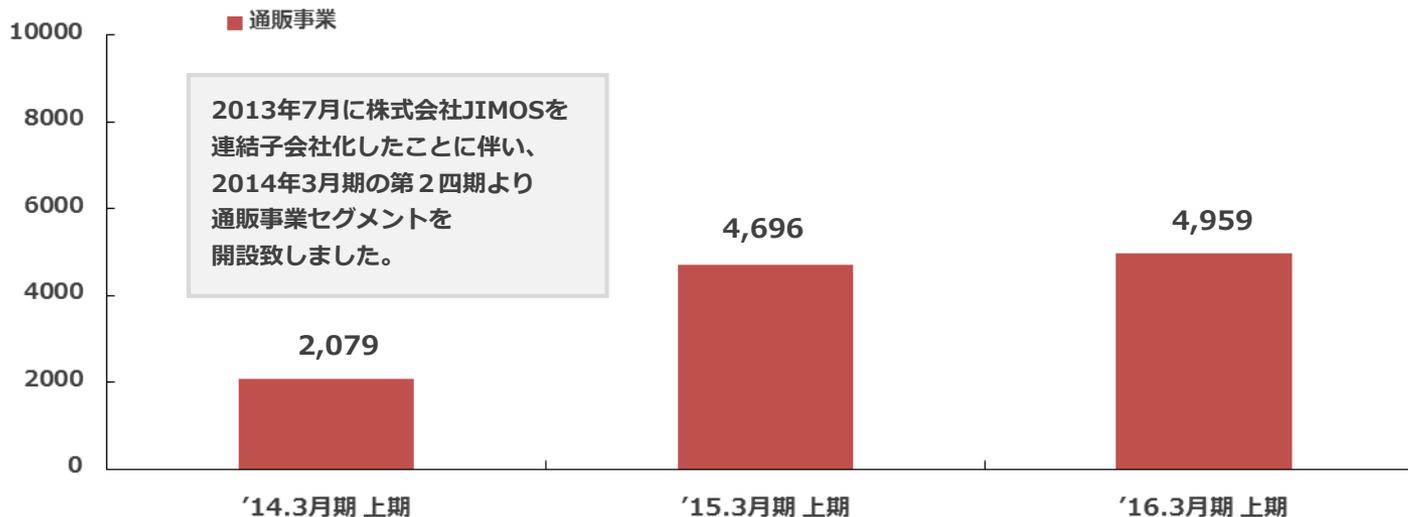
※3 支店統廃合により▲5

※4 支店統廃合により▲1

2 セグメント別業績（5）通販事業 ①

(単位：百万円)

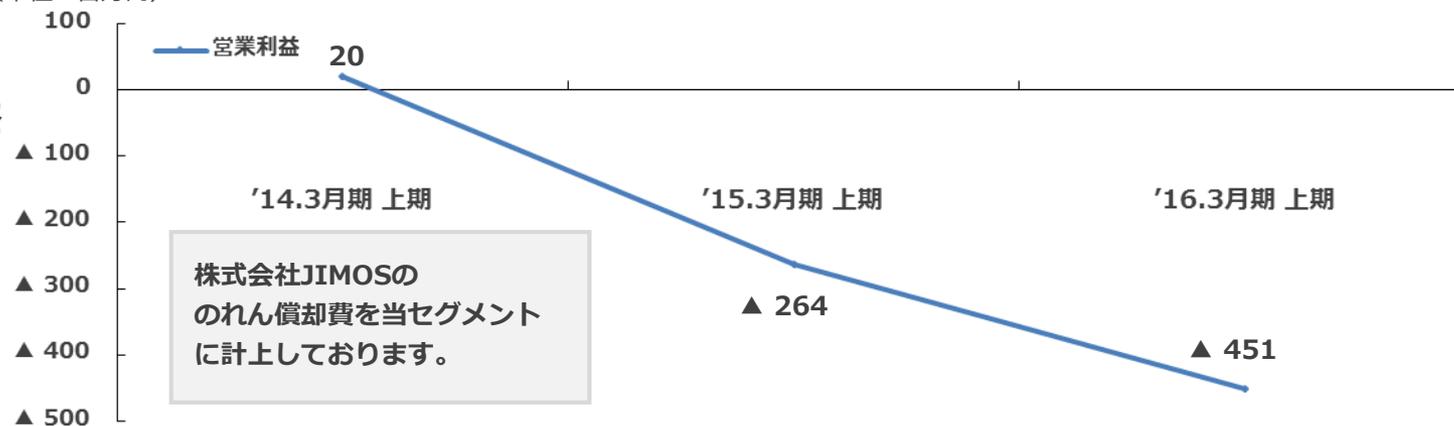
売上高



- » 化粧品通信販売では、メイクレイベルは堅調に推移。またCoyoriは順調に新規顧客が増加していることから売上高が増加
- » ホールセール事業や通販コンサルティング事業の売上高が減少

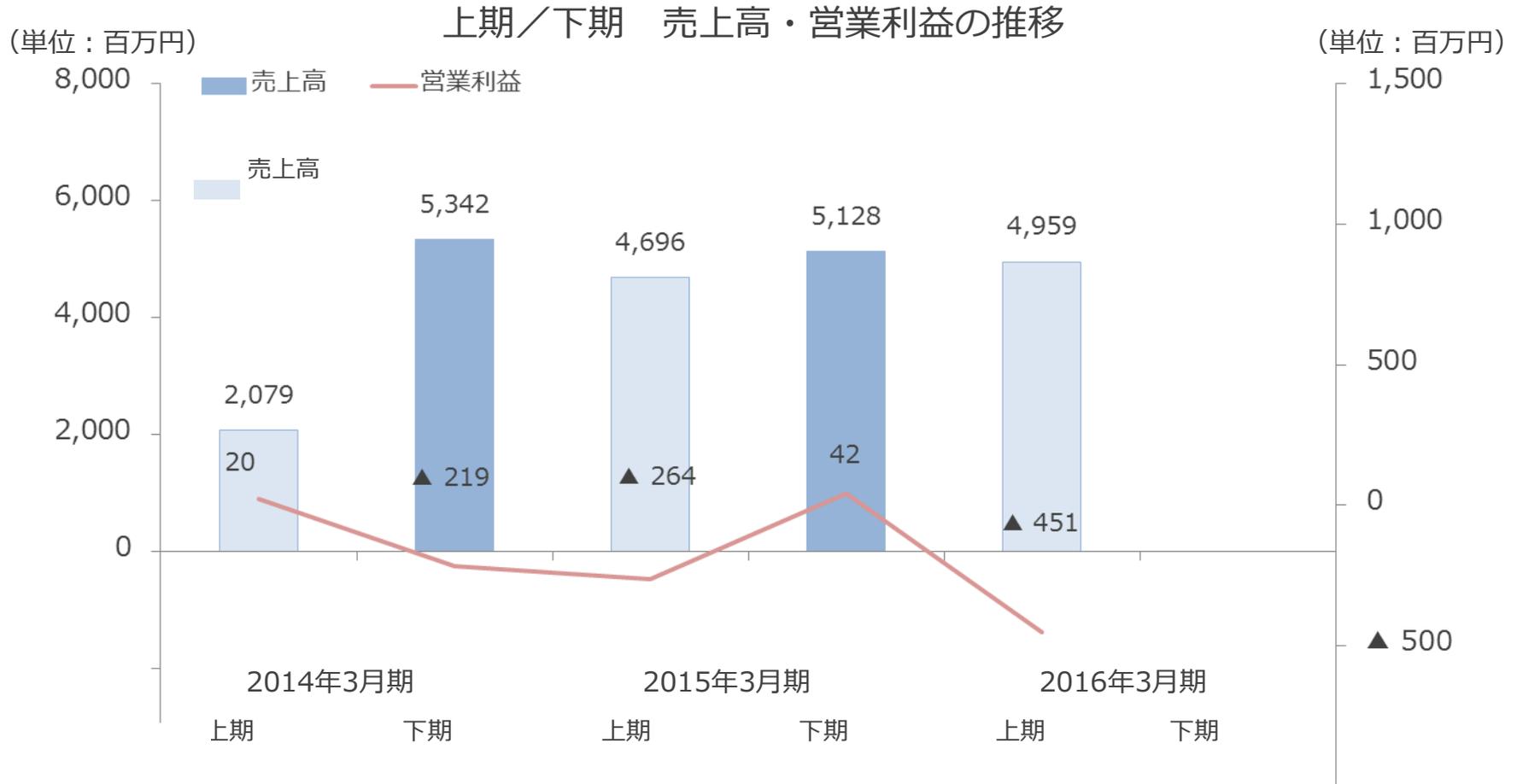
(単位：百万円)

営業利益



- » 損益面では、広告宣伝費及び販売促進費の支出計画を前倒して積極的に投入したこととホールセール事業や通販コンサルティング事業の売上高減少により営業利益は前年同期比で減少

2 セグメント別業績（5）通販事業 ②



- » 冬場に向け化粧品販売の売上高が上昇傾向
- » のれん償却費を当セグメントに計上しており、損益面ではマイナスとなる

3. 通期業績

(単位：百万円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 公表値	前期比
売上高	85,443	89,500	+ 4.7 %
営業利益	1,517	1,600	+ 5.5 %
経常利益	1,481	1,600	+ 8.0 %
当期純利益	519	700	+ 34.7 %
年間配当	38 円	39 円	+ 1 円
EPS	31.09 円	41.71 円	+ 10.62 円

3 2016年3月期 セグメント別：売上高 公表値

(単位：百万円)

売 上 高	2015年3月期 実績	2016年3月期 公表値	前期比
ク リ ク ラ 事 業	13,033	14,000	+ 7.4 %
レ ン タ ル 事 業	12,485	12,900	+ 3.3 %
建築コンサルティング 事 業	6,014	5,500	▲ 8.5 %
住 宅 事 業	44,134	46,400	+ 5.1 %
通 販 事 業	9,825	10,700	+ 8.9 %
消 去 調 整 他	▲ 49	-	-
合 計	85,443	89,500	+ 4.7 %

3 2016年3月期 セグメント別：営業利益 公表値

(単位：百万円)

営 業 利 益	2015年3月期 実績	2016年3月期 公表値	前期比
ク リ ク ラ	143 (1.1 %)	0 (-)	- (-)
レ ン タ ル	1,505 (12.1 %)	1,750 (13.6 %)	+ 16.3 % (+ 1.5 pt)
建築コンサルティング 事 業	900 (15.0 %)	700 (12.7 %)	▲ 22.2 % (▲ 2.3 pt)
住 宅 事 業	388 (0.9 %)	900 (1.9 %)	+ 132.0 % (+ 1.0 pt)
通 販 事 業	▲ 222 (▲ 2.3 %)	▲ 50 (▲ 0.5 %)	- (+ 1.8 pt)
全 社 費 用 等	▲ 1,199	▲ 1,700	-
合 計	1,517 (1.8 %)	1,600 (1.8 %)	+ 5.5 % (+ 0.0pt)

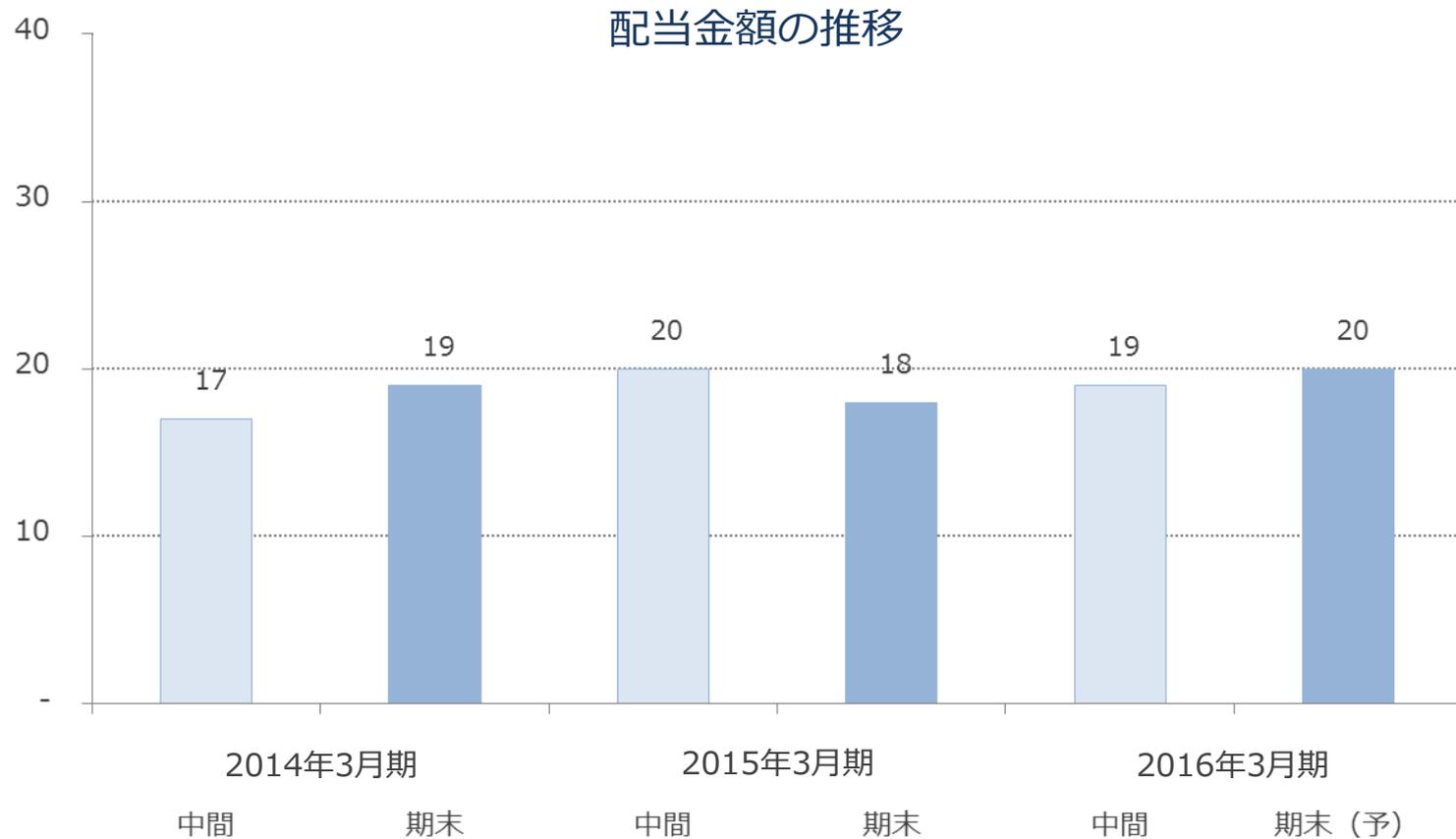
※ () 内の数字は売上高に対する営業利益率です。

□ **全社費用▲1,700にはESOP信託満期による株価上昇分の会社負担費用を含む。**

4. 配当計画

4 配当計画：純資産配当率（DOE）4%が配当方針

(単位：円)



1株あたり
年間配当額

36円

38円

39円

5. 中期経営計画

5 基本方針

(単位：百万円)

2021年3月期にグループ連結売上高1500億、同営業利益100億を達成すべく、既存事業の収益安定化と共に、新たな事業の育成に向け戦略的な投資を行っていく。

5

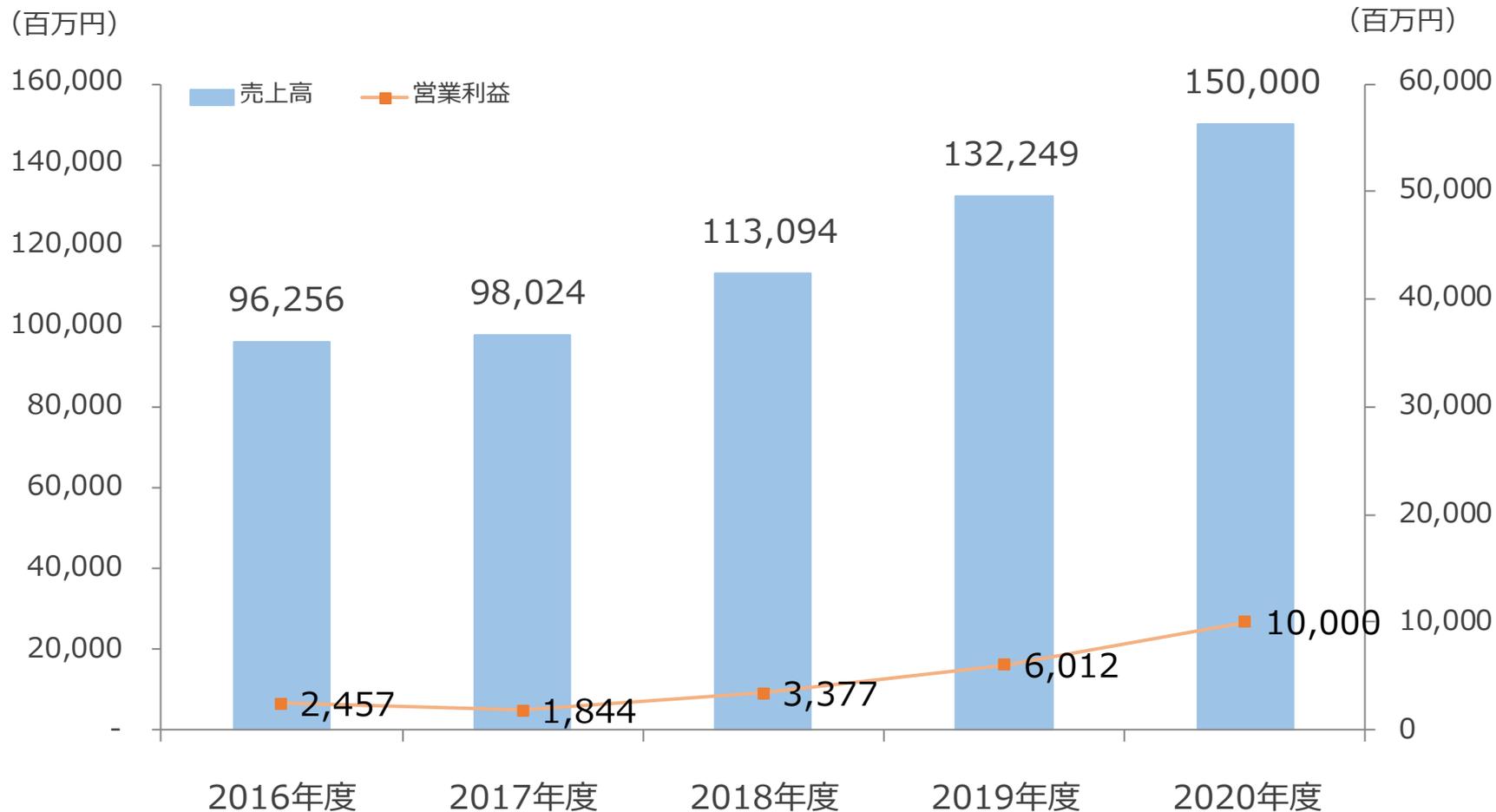
計画最終期（2021年3月期）数値計画

セグメント別：売上高／営業利益

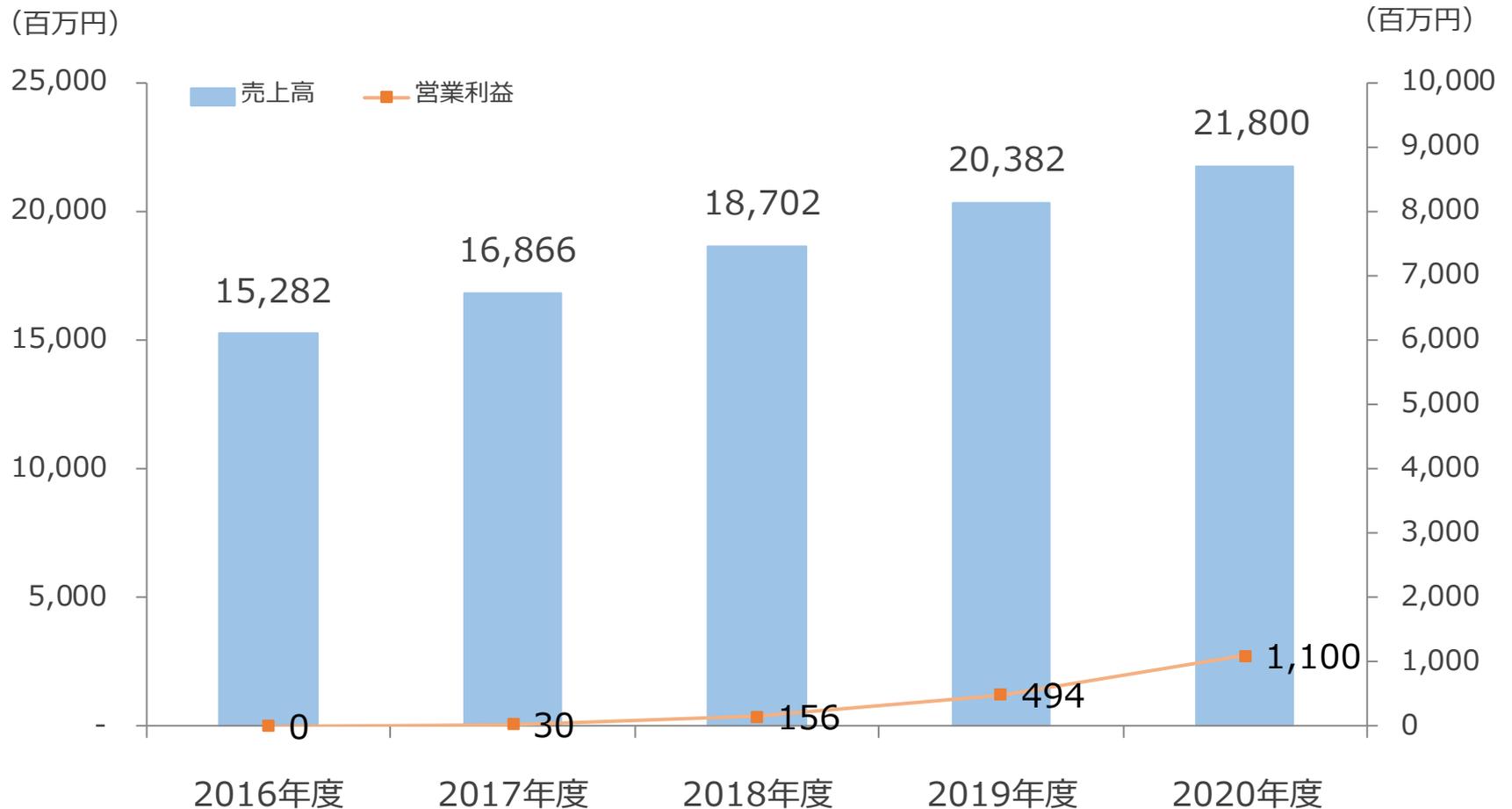
(単位：百万円)

売 上 高	売上高	営業利益	営業利益率
ク リ ク ラ 事 業	21,800	1,100	5.0 %
レ ン タ ル 事 業	17,000	2,200	12.9%
建築コンサルティング 事 業	8,800	1,100	12.5%
住 宅 事 業	80,000	5,100	6.3%
通 販 事 業	20,400	2,100	10.2%
M & A 他	2,000	0	-
本 社 費 用	-	▲1,600	-
合 計	150,000	10,000	6.6%

5 数値計画

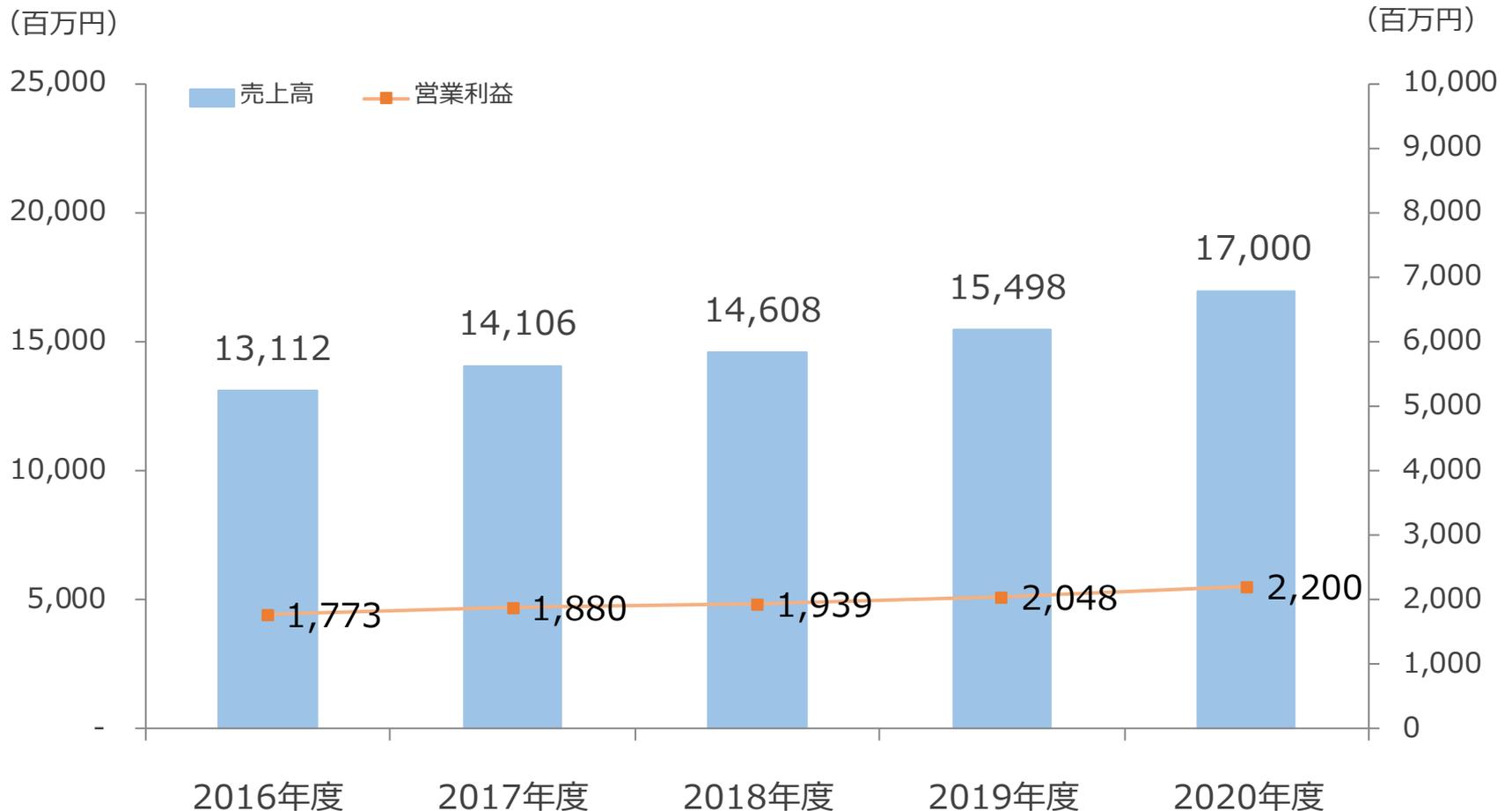


5 セグメント別数値計画 クリクラ事業



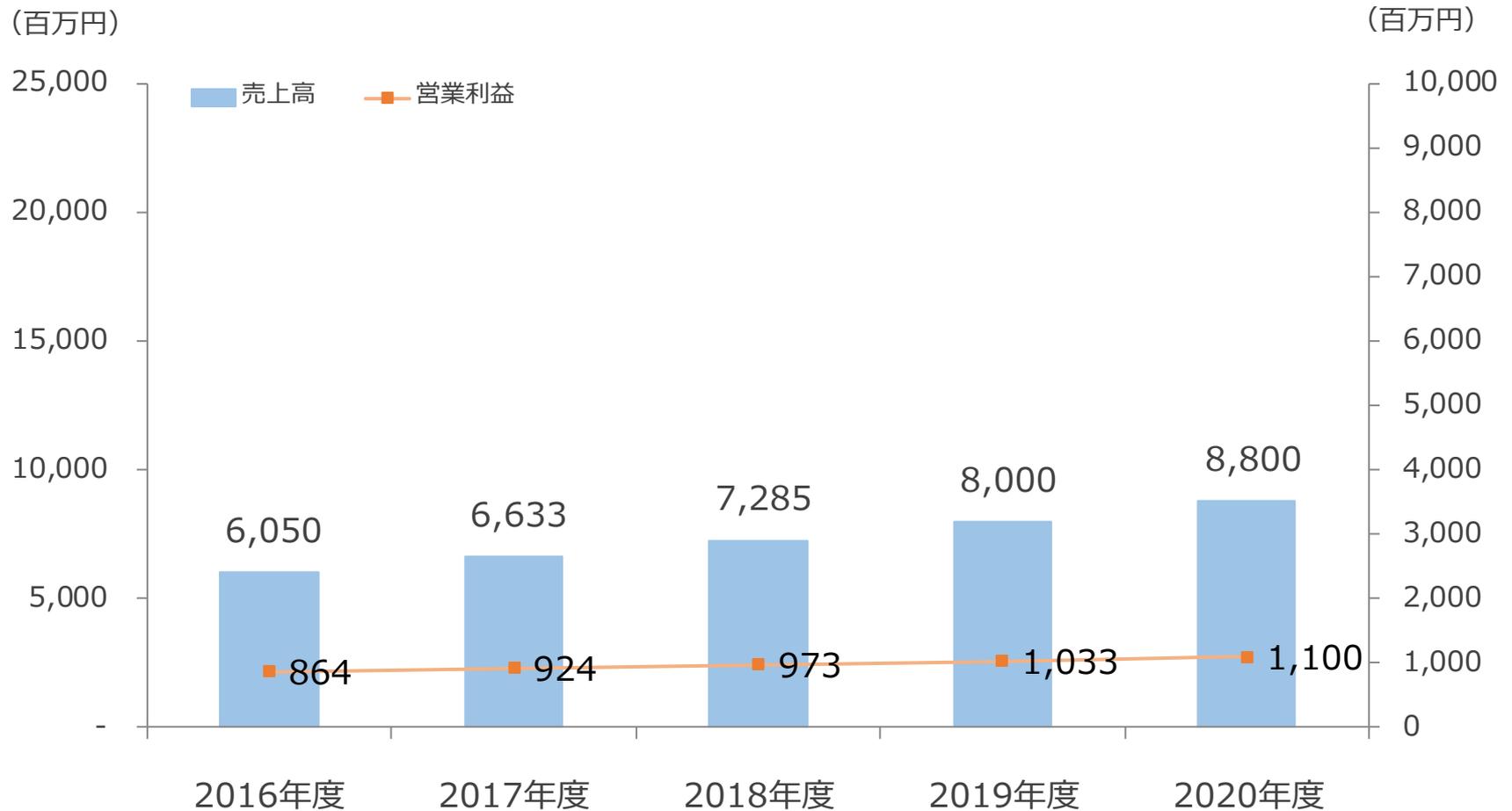
» 市場成長の鈍化と参入企業の増加への対応等により固定費が増加したことで収益性が悪化。コストの最適化による収益性改善を図りつつ、ワンウェイモデルによる顧客拡大、既存顧客へのクロスセル、新たなフランチャイズ開発により事業拡大を図る。

5 セグメント別数値計画 レンタル事業



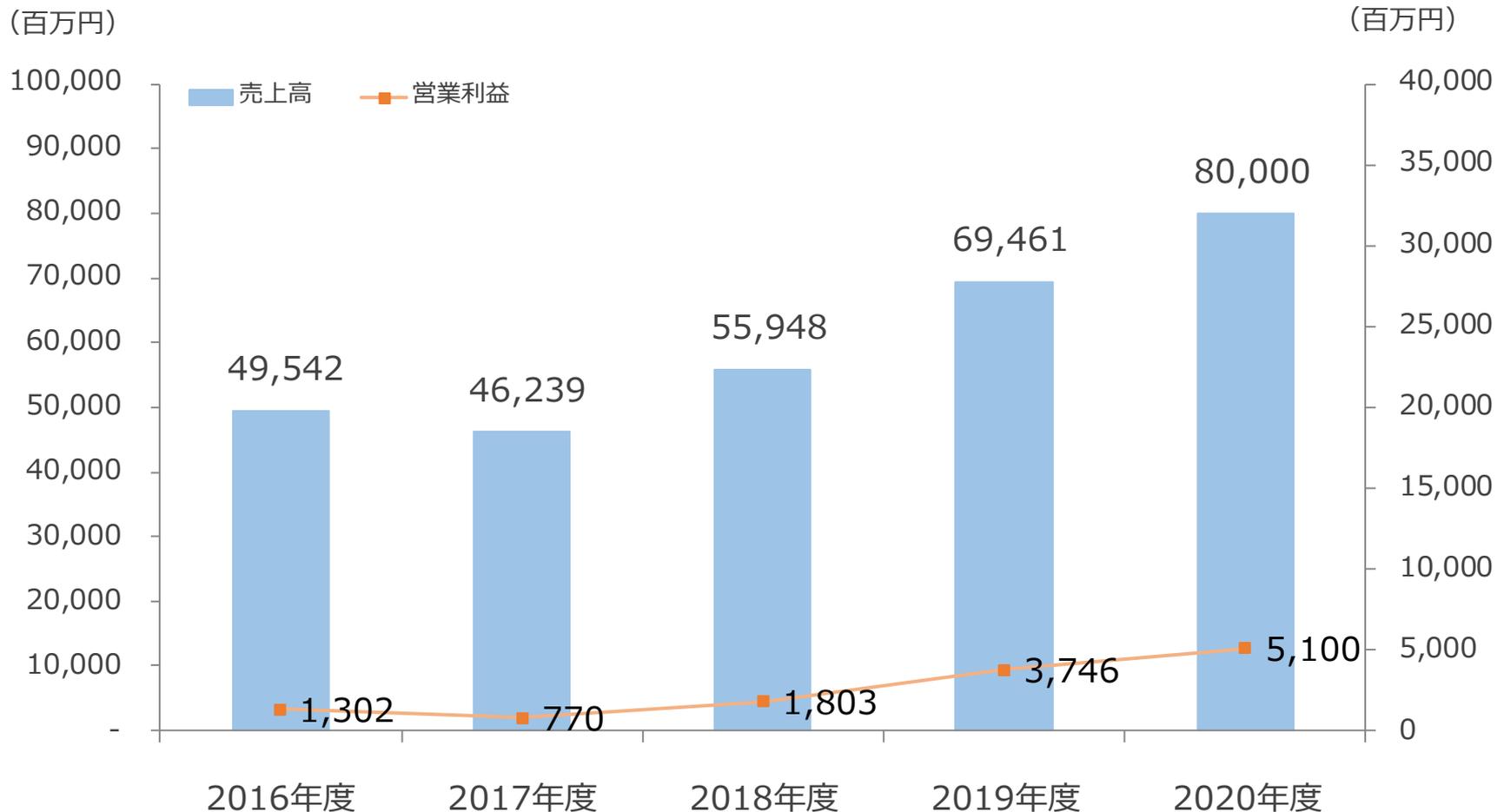
» 主力のダスキンの事業は市場成熟により大きな成長は見込めないものの、安定した収益源として維持していく。市場拡大が見込まれる高齢者・単身世帯への家事代行サービス及び店舗・工場などの事業所向け節電設備の導入施工（EMS）事業が成長ドライバー。

5 セグメント別数値計画 建築コンサルティング事業



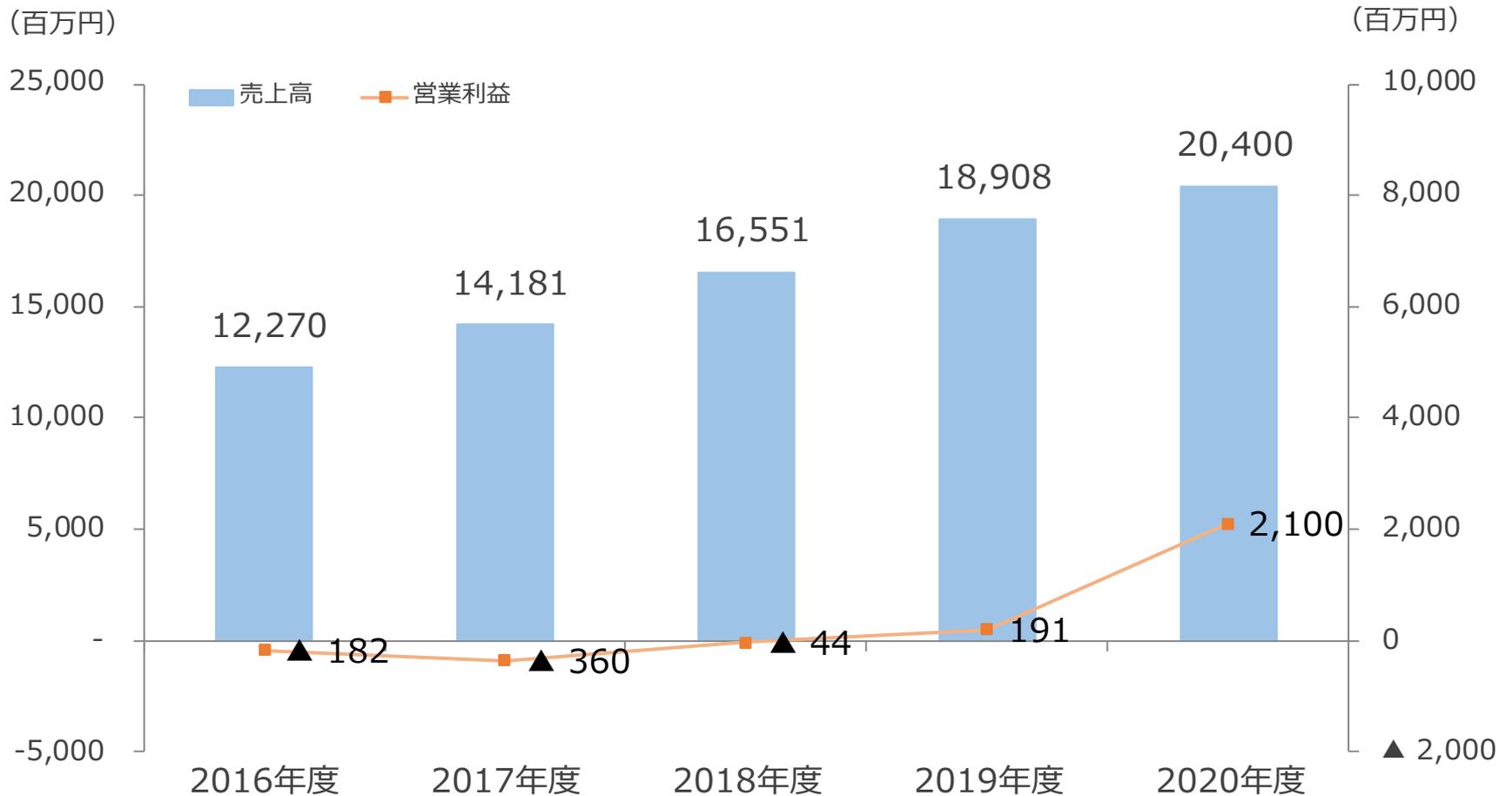
» ノウハウ販売は戸建て住宅業界の市場縮小による顧客の経営状態の悪化がネックとなっている。新たな商品開発によりこれまでとは異なる層の顧客開拓に注力していく。建築部材販売はZEH等の省エネ住宅の市場拡大を背景に、新築住宅向け太陽光設備販売・施工の伸張を見込む。

5 セグメント別数値計画 住宅事業



» 2016年度は消費税増税前の駆け込みによる需要増が想定されるが、2017年度はその反動減を見込む。人件費・材料費の継続的な高騰が見込まれる中、金利の動向、政府の省エネ住宅政策の動向などの影響を強く受ける見込みであり市場は不透明。OB顧客のリフォーム需要の取り込みと土地建物分譲事業の展開等により業績拡大を見込む。

5 セグメント別数値計画 通販事業



» 化粧品通信販売は好調な新規獲得の為の広告投資を継続し顧客基盤の拡大を図る。計画最終年度には広告投資を抑制し収益化を図る計画。通販以外の新規事業開発も進んでおり、2018年度以降の黒字化を目指す。

6. 補足資料

会社概要と事業紹介

商号	株式会社ナック (Nac Co., Ltd.)
所在地	東京都新宿区西新宿一丁目25番1号 新宿センタービル
設立	昭和46年5月20日
代表者	代表取締役社長 吉村 寛
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ クリクラ事業：宅配水の製造・販売 ■ レンタル事業：ダスキンの清掃用品、害虫駆除器のレンタル、定期清掃業務 ■ 建築コンサルティング事業：建築ノウハウ、太陽光発電システムの販売 ■ 住宅事業：注文住宅の建築請負、それに付随する金融・保険業務 ■ 通販事業：化粧品・健康食品・日用雑貨等の通信販売
連結子会社	<p>株式会社レオハウス (住宅事業) 株式会社アーネスト (ビルメンテナンス事業) 株式会社 JIMOS (通販事業) 株式会社ジェイウッド (住宅事業) 株式会社エコ&エコ (住宅関連設備販売・工事) 株式会社ナックライフパートナーズ (金融・福利厚生)</p>
従業員数 (正社員)	連結2,014名 (パートタイマー、アルバイトは除く)
資本金	40億円
発行済株式数	18,719,250株 (一単元：100株)
株主数	9,832名 (自己名義株式を除く総株主数)

6 主な指標（連結ベース）

	'15.3月期 実績	'14.3月期 実績	増減
期中平均発行済株式数	16,717,171 株	16,608,950 株	+ 108,221 株
1株当り純資産（BPS）	961.22 円	961.07 円	+ 0.15 円
1株当り当期純利益（EPS）	31.09 円	168.23 円	▲ 137.14 円
自己資本比率	40.5 %	39.6 %	+ 0.9 pt
自己資本純利益率（ROE）	3.2 %	18.8 %	▲ 15.6 Pt
1株当り配当金	38 円	36 円	+ 2 円
配当性向	122.2 %	21.4 %	+ 100.8 pt
純資産配当率	4.0 %	4.0 %	0 pt

6 沿革

昭和46年5月	東京都町田市に株式会社ダスキン鶴川設立	
昭和52年8月	株式会社ナックに商号変更	
平成7年9月	日本証券業協会（現：JASDAQ）に店頭登録	
平成9年1月	東京証券取引所市場第二部上場	
平成11年9月	東京証券取引所市場第一部指定	
平成13年12月	宅配水事業「クリクラ」に進出	
平成14年2月	連結子会社（現・株式会社レオハウス）で住宅事業に進出	
平成22年3月	創業 40周年、売上高 500億円達成	
平成24年3月	株式会社 アーネストを完全子会社化	
平成25年7月	株式会社 JIMOSを完全子会社化 株式会社ジェイウッドを完全子会社化	
平成27年4月	クリクラ本庄工場新設	

6 各事業の市場におけるポジショニング

クリクラ事業

- 宅配水市場売上高**シェアNo.1**※1（加盟店は全国に600社超）
- 製造本数**業界No.1**(約1800万本)
- **業界初**のHACCP認証、ecoマークを取得
- **業界初**の研究開発専門センター設立

※1 2011～2013年度宅配水市場販売金額ベース株式会社矢野経済研究所調べ 2014年12月現在

レンタル事業

- ダスキンフランチャイズディーラー**売上No.1**（約2,000社中）
- **日本初**の厚生労働省承認 飲食店向け害虫駆除器「with」

建築コンサルティング事業

- ナック会員工務店 **約6,000社**
- 地場工務店向け「受注促進」「原価低減」支援事業
- 太陽光発電システム、スマートハウス商材などの卸販売

住宅事業

- 「レオハウス」ブランドによる注文住宅の建築請負
- レオハウス '11 '12 '13 年度注文住宅 **地域ビルダーNo.1**
- 2013年7月より自然素材住宅を手がける株式会社ジェイウッドを子会社化

通販事業

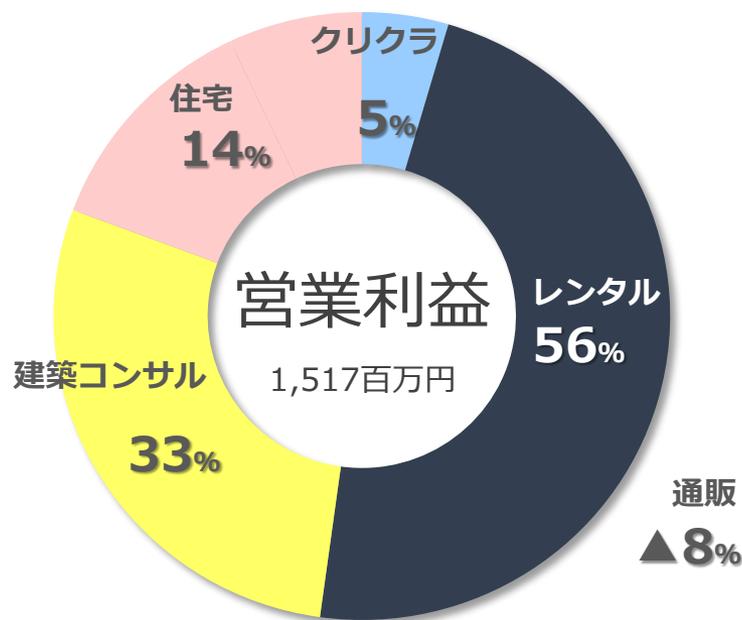
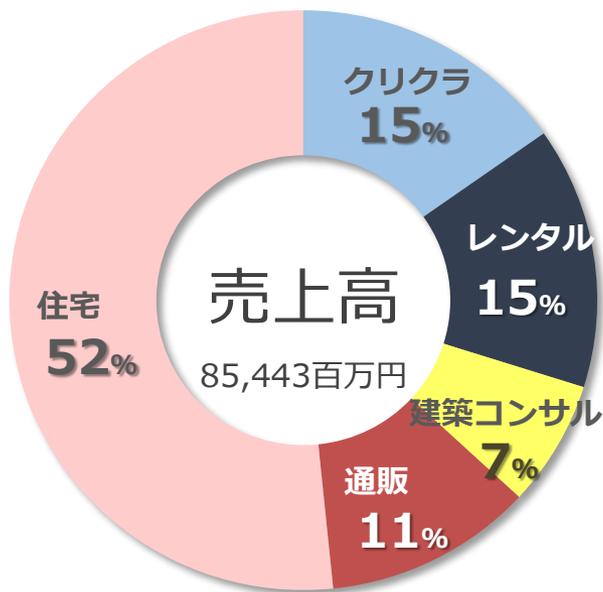
- 2013年7月、株式会社 JIMOS の子会社化により通販事業参入
- 40～60代の女性を中心に、基礎化粧品が主力
- 「'14 Yahoo! BEAUTY あなたが選ぶ通販コスメ大賞」のベースメイクアイテム部門でJIMOSの商品が **No.1** を獲得

6

売上高・営業利益構成比（15.3期実績）

■ クリクラ ■ レンタル ■ 建築コンサル ■ 通販 ■ 住宅

■ クリクラ ■ レンタル ■ 建築コンサル ■ 住宅



※本社費は除外しています

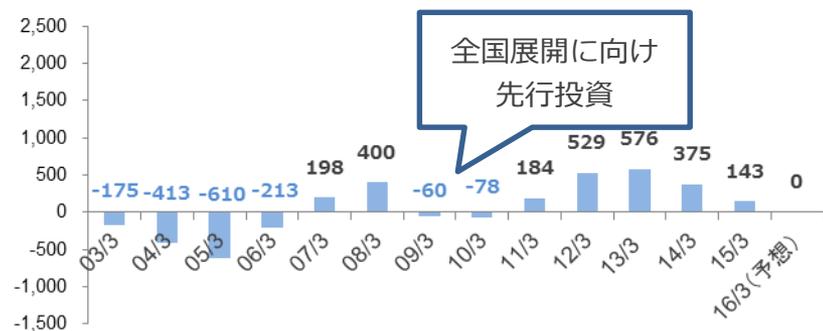
売上高営業利益率

クリクラ	レンタル	建築コンサル	通販	住宅	全社
1.1%	12.1%	15.0%	▲2.3%	0.9%	1.8%

6 セグメント別営業利益の推移

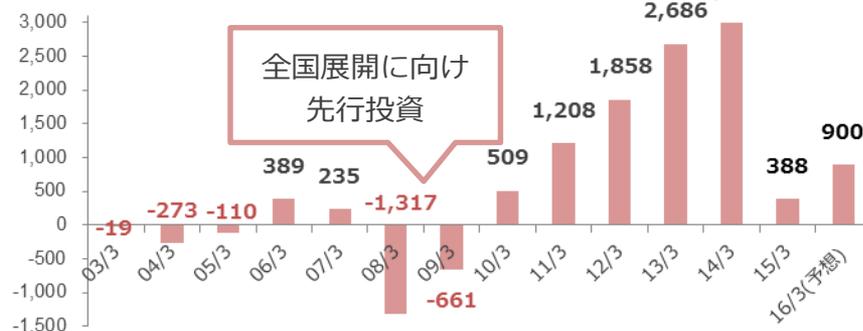
(百万円)

【クリックラ事業】



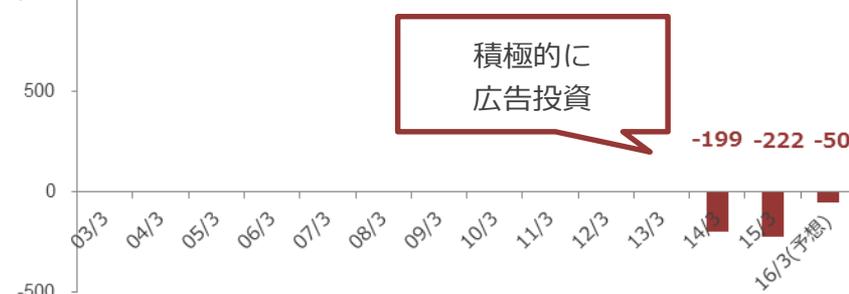
(百万円)

【住宅事業】



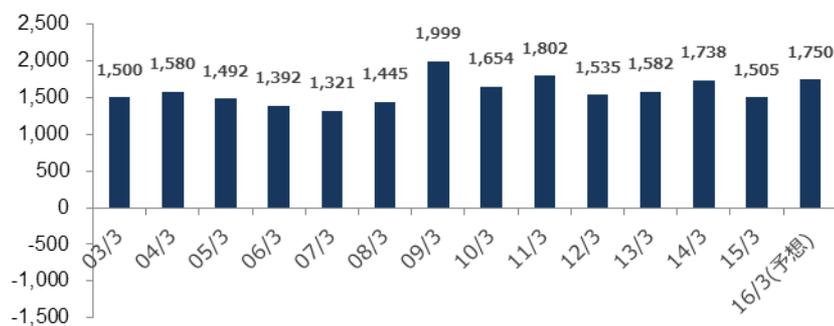
(百万円)

【通販事業】



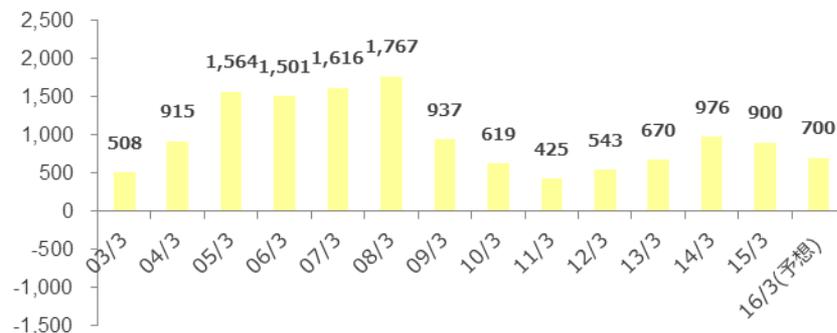
(百万円)

【レンタル事業】



(百万円)

【建築コンサルティング事業】



安定したレンタル事業と建築コンサルティング事業を基盤に積極的に投資をして成長を目指します。